学校番号	1202

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)表現活動の実践	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	うたはともだち（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・班ごとに音楽と美術の２分野を半期ずつ学習します。
・音楽分野では生き生きとした音楽的活動を援助する保育者の目線で「手遊び歌」「読み聞かせ」「楽器遊び」を行います。基礎的な表現力と豊かな音楽性を身につけ、子どもの音楽的発達と音楽環境について学びます。
・美術分野では、表現及び鑑賞の活動において、美術を形づくっている要素を知覚し、その働きを感じとって表現したり、根拠をもって美術のよさを視覚で表わすことを重視します。
・学習の到達度は、授業への取り組み、ワークシート、グループ発表などで評価します。

2　学習の到達目標

・基礎的な表現力を高め、発達にふさわしい広く様々な「表現」活動について知識を身につける。
・主体的、協同的に様々な「表現」に取り組み、自分自身が「表現」を生き生きと楽しくする工夫について考えられるようになる。
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①　音楽を形作っている要素の働きについて実感を伴った理解による「知識」の習得 ②　音楽の多様性の理解・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能（演奏・創作・言語化）を身につけ、表すことができる ③　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている ④　表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している	①　音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。それをどのように表すかについて（演奏・創作）表現意図をもったり、（鑑賞）音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている ②　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている	①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする ②粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整・試行錯誤・テスト＆チェックすることができる ③主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
音楽分野	手遊び歌		a：楽譜に書かれた表現をもとに、曲種や表現形態に応じた発声を身につけている b:歌詞表現から曲想を感じとり、自己のイメージや意図をもって表現を創意工夫している c：主体的、協働的に歌唱練習・パート練習に取り組んでいる	観察 楽典テスト	実技テスト	観察 練習態度

	読み聞かせ		a:正しい発生姿勢・読み聞かせ速度を身につける。 b:絵本内容からイメージを感じとり、意図をもって表現を創意工夫している c：主体的、協働的に練習・役割に取り組んでいる	・楽典テスト ・実技テスト（読譜）	・実技テスト(演奏の工夫、テクニック、アンサンブルの技巧)	・観察 ・アンサンブル練習
	楽器遊び	季節の行事にあわせた音楽会・レクリエーション企画 幼児や高齢者を対象とした楽器遊びやリズム体操の実践	a:　音楽を形作っている要素及び音楽に関する用語や記号を音楽における働きと関わらせて理解している。 b:思考・判断・表現）使用する楽曲の音楽の構成要素を知覚し、表現の特徴や良さをまとめ、企画した内容と一致しているか具体的に説明できる。 c:企画の項目がすべて記入されている。鑑賞のレビューの内容が一言だけではなく、行の８０％は埋めているか。	ワークシート	企画内容と実践内容	ワークシート

美術分野	ユニバーサルデザインを知ろう	【デザイン】【共通事項】【鑑賞】 ・ユニバーサルデザインについて学習する ・制作(色彩基礎) ・発表 ・鑑賞	知識 a: 造形の要素の働きを理解している。形などの直線と曲線の効果、色の特性について理解している。 a: 主題に合わせて、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 a:色のユニバーサルデザインについての基礎知識を習得している。 技能 a: 材料や用具の特性を生かしている。 a: 表現方法を工夫し、主題に応じて、ｱｲﾃﾞｱｼｰﾄに描いた計画を基に創造的に表している。 思考・判断・表現 b: 主題に応じて色や形を選び、条件、美しさなどを考え、主題を生成している。 b:デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 主体的に学習に取り組む態度 c: 主体的に色や形に関心を持ち主題を考えながら創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 活動の様子 作品 発表	ワークシート 活動の様子 作品 発表	ワークシート 活動の様子 作品 発表
	造形表現	【絵画・彫刻】【共通事項】 ・調べ学習 ・制作 ・グループ発表 ・鑑賞	知識 a:形や色彩、材料、などの性質、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 技能	ワークシート 活動の様子 発表	ワークシート 活動の様子 発表	ワークシート 活動の様子 発表

			a:意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 思考・判断・表現 b:（発想や構想）表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 b:（鑑賞）造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 主体的に学習に取り組む態度 c: 主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造活動に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度